

執筆のしおり

(2012 年 5 月 改訂)

1. 原稿用紙および原稿の長さ

原稿は A4 縦置き白紙に横書きで執筆する。原稿用紙の書式は特に定めないが、余白、行間を十分に取り、読みやすいように努めること。原稿の長さは刷り上りの状態で下記のページ数を超過しないように配慮すること。刷り上り 1 ページは文字で全部を埋めた場合、2,548 字（1 行あたり 26 字×49 行×2 段）に相当する。なお、下記の刷り上りページ数には表題、要旨、図表などの一切を含むので、これらのスペースも考慮し、原稿を執筆すること。

- | | |
|---------------|-------|
| (1) 研究： | 6 ページ |
| (2) ショートペーパー： | 2 ページ |
| (3) 報告： | 2 ページ |
| (4) 投稿解説： | 6 ページ |
| (5) 製品紹介： | 2 ページ |
| (6) 討論： | 2 ページ |
| (7) 伝言板： | 1 ページ |

2. 原稿の構成

原稿は、投稿票、表紙、要旨、本文、参考文献、図表説明一覧、図表、著者紹介、誓約書から成る。

2.1 投稿票

投稿票は以下の学会ホームページよりダウンロードし、所定の情報（寄稿種類、表題、著者氏名、所属、所在地、連絡先、キーワードなど）を記入する。学会ホームページ URL：
<http://www.sugano.mech.waseda.ac.jp/biomech/sobim3.htm>

2.2 表紙

寄稿種類、表題、著者氏名、所属、所在地、連絡先、キーワード（5 個程度）を記入する。「研究」「ショートペーパー」「報告」「投稿解説」の場合は、さらにそれぞれの項目を英文で記入する。

2.3 要旨

ページを改めて要旨を記す。「研究」「投稿解説」には和文および英文の両方の要旨を付す。「ショートペーパー」「報告」には英文の要旨のみを付す。和文要旨は 300 字程度、英文要旨は 200 語程度にまとめる。

2.4 本文

ページを改めて本文を記す。原稿は、十分推敲し、簡潔でわかりやすいように、重点を強調して記述する。

(1) 原稿の言語

日本語を用いることを原則とするが、英語を用いてもよい。以下は、日本語を用いる場合の規定であるが、英語を用いる場合はこれに準ずる。

(2) 用語・単位・記号

文章は、できる限り当用漢字・新かなづかいを用いる。学術用語は、文部科学省、JIS または関連学会で定めたものを用いる。それ以外のは、慣用の学術用語および技術用語を使用する。単位は、国際単位系(SI)による。量および単位を表す記号は、なるべく JIS で制定されたものを用い、必要があれば記号一覧表をつける。単位の記号は、[kg][mm]のように[]で囲む。

(3) 章立てと見出し

本文は、章、節、項に区切る。章の見出し番号は 1., 2., …, 節の見出し番号は 1.1, 1.2, …, 項の見出し番号は (1), (2), …とし、行の左端から書き、本文はこの下の行から書く。

(4) こまどりと句読点

本文は、書きだしおよび改行後の書きだし部分を 1 こまあける。また見出し番号の次も 1 こまあける。句点は [.]、読点は [,] とし、1 こまを占める。

(5) 脚注

脚注は、文末に一覧表としてまとめる。本文中では、右側に(注 1) などとつける。

(6) 文字指定

本文、数式、図、表などに記入される文字は、字体が明確にわかるように書く。まぎらわしい文字には、赤で字体を指定する。英字の変数はイタリックとし、その他の英字（単位：kg など、演算子：sin, det など、一般用語、固有名詞）はローマンとする。

(7) 数式

数式は改行して 2 行取りとし、字体が明確にわかるように書く。式の右に括弧数字を振り、式(1)などと引用する。まぎらわしい文字には、上ツキ、下ツキのように赤で字体を指定する。分数式を本文中に入れるときは、 $a/b, (a+b)/(c+d)$ のように 1 行に書く。

2.5 参考文献

本文中での参考文献は、引用箇所の右肩に番号を²⁾もしくは^{1,2) 3~7)}のように記入する。文献の一覧は、下記の形式で本文の末尾にまとめて記載する。また、文献の一覧のカンマ、ピリオド、コロンは半角とし、後ろに半角スペースを入れる。原則として、Web ページの URL を参考文献として用いることは認めない。

(1) 雑誌の場合

番号) 著者名：表題、雑誌名、巻(号)、頁一頁、(年)。

一例ー

- 1) 日本太郎、石英硝子：人工の手の機構と運動、バイオメカニズム学会誌、2(1)、10-15、(1993)。
- 2) Nihon, T. and Tokyo, J.: Biomechanics of joints, J. Biomechanisms, 3(1)、20-25、(1994)。

(表題は最初の文字だけ大文字にする。)

(2) 書籍の場合

番号) 著者名：書名、頁一頁、出版社、(発行年)。

ー例ー

- 3) 東京太郎：バイオメカニズム入門，50-70，日本出版，(1985)．

(3) 編著書籍の場合

番号) 著者名：表題，編集者名(編)：書名，頁一頁，出版社，(発行年)．

ー例ー

- 4) 鳥居鎮夫：衝動行動，中村嘉太郎，坂田英夫(編)：脳の科学 II，123-145，朝倉書店，(2000)．
- 5) Camuri, A., Morasso, P. and Zacca, R.: Dance and movement, In: Morasso, P., Garozzo, N. and Tagliasco, V. (Eds): Human Movement Understanding, 85-124, North-Holland, (2002)．

2.6 図表説明一覧

図表の説明は，ページを改めてまとめて一覧できる形に記載し，原稿に添付する．「研究」「ショートペーパー」「報告」「投稿解説」の場合，図表説明は和文のみとする．図表番号は図1，表1などとする．

2.7 図表

図表は一つずつA4用紙に配置し，図1，表1などの通し番号を付ける．「研究」「ショートペーパー」「報告」「投稿解説」の場合は，図表中の文章は原則として和文とする．

図表は，提出された原図をそのままオフセット印刷する．原則，原図がカラーでも白黒印刷になるので注意すること．写真は図に含める．写真は濃淡が鮮明なものとする．図表の大きさは，刷り上り寸法の1.5～2倍程度が望ましい．図表を原稿に挿入する箇所は，原稿の右側余白に図表番号によって明示する．

2.8 謝辞

謝辞がある場合には，本文の最後，参考文献の前に書く．

2.9 著者紹介

「研究」「投稿解説」の場合は，氏名，学歴，職歴，研究テーマ，所属学会などを記載した著者紹介を作成する．本文とはページを改めること．第1著者は，200字以内で，顔写真のファイルを添付する．第2著者以降は，100字以内で写真なしとし，希望者のみ掲載する．

ー例ー (200字)

筑羽太郎(つくばたろう) 1984年筑羽大学大学院工学系研究科博士課程満期退学．1990年工学博士．1985年筑羽大学工学部精密機械工学科助手．現在，製品科学大学理工学部産業機械工学科教授．主として電動義手の開発，多関節型ロボットの研究に従事．精密工学会，計測自動制御学会，日本ME学会，日本ロボット学会の会員．(バイオメカニズム学会正会員)

2.10 誓約書

以下の項目についての誓約書を添付すること：投稿内容が倫理規定に従っていること，著作権が適正に処理されていること，出版物の著作権の帰属がバイオメカニズム学会にあること，著者全員が原稿の内容に責任をもっていること．誓約書の様式は，本学会のホームページからダウンロードして記入する．

2.11 原稿のPDF化

初回投稿時には，原稿をPDFファイルに変換し，学会事務局宛にE-mailに添付して送付すること．PDF化する原稿は，1. 投稿票，2. 表紙，3. 査読用原稿，4. 著者紹介，5. 誓約書とし，これらを別々に作成する．PDFファイルに変換できない場合には，学会事務局に問い合わせること．

2.12 電子ファイルの提出

採録決定後にPDF化しない状態の原稿の電子ファイルをE-mailに添付して提出する．E-mailが利用できない場合は，学会事務局と連絡を取り，CD-ROMによる送付など可能な方法を用いる．図を除いた全ての原稿を，MS-Wordあるいはテキストファイル形式で保存すること．図の電子ファイルは，JPEG，TIFF，EPS，PDF，PowerPointなどの形式が分かるようにすること．図表を配置したレイアウト原稿があれば参考とするが，必ずしも指定の通りに印刷されるとは限らないので，注意すること．

3. 掲載料

寄稿が採用された場合，下記の論文掲載料を申し受ける．

	研究 投稿解説	ショート ペーパー 報告	討論 伝言板
基本ページ数	6	2	討論：2 伝言板：1
掲載料	¥50,000	¥20,000	無し
超過料金	¥10,000/頁	¥10,000/頁	無し
無料別刷り	20部	20部	無し
追加別刷り料金(20部単位)	¥50/頁/部	¥50/頁/部	¥50/頁/部

4. 執筆の要点一覧

	研究 投稿解説	ショート ペーパー 報告	討論 伝言板
基本ページ数	6	2	討論：2 伝言板：1
投稿票	○	○	○
表紙 A	表題	○和英併記	○和英併記
	氏名，所属，所在地	○和英併記	○和英併記
	キーワード	○和英併記	○和英併記
和文要旨	○		
英文要旨	○	○	
本文	○	○	○
図表説明	○和文	○和文	
図表	○和文	○和文	
著者紹介	○		
電子ファイル	○	○	○

注) 上記要点一覧は本文を日本語で執筆することを前提としたもの．本文を英語で執筆する場合もこれに準ずるが，和文表題などは不要．